

2022年度
学校関係者評価報告書
(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年7月21日

学校法人東北文化学園大学
東北文化学園専門学校

「2022年度自己点検・自己評価報告」に伴う学校関係者評価について

「2022年度東北文化学園専門学校自己点検・自己評価報告」の結果に基づき、学校関係者評価委員会の意見を取り纏めましたので、ここに「2022年度学校関係者評価報告書」を公表いたします。

昨年度、「一日も早くコロナウイルス感染が収束し、一人でも多くの入学者を迎え、再び活気ある東北文化学園専門学校となることを切望する」との学校関係者評価委員意見総括を纏めたことが、つい先日のように感じられます。

2022年度は、コロナ感染症の分類が第2類から第5類へと移行する中、学校は感染対策を緩めず継続し、その環境下で、学内実習から本来の姿である学外実習へのシフト、対面形式によるオープンキャンパスの毎月開催、そして学園祭の3年ぶりの開催等、常に学生を中心軸に置き、内外の問題に対して教職員が一丸となって取り組んだ様子が伺えます。

また、それに応える学生の姿は、これからの東北文化学園専門学校に明るい兆しを感じさせ、学校関係者評価委員一同、近い将来、必ずや活気にあふれた学校に戻るものと確信しておりました。

然しながら、期の途中に発表された「東北文化学園専門学校の2023年度生をもって以降の学生募集を停止する」との決定は、正直驚きを禁じ得ず、2022年度はコロナ禍、かつ、学生募集停止の判断という、まさに激動の中で、学校はどのような「自己点検・自己評価」を示してくるのか一抹の不安がありました。

併せて、私共、学校関係者評価委員会はこの状況下で何ができるのか、在籍している学生のために役立つ提案ができるのか、提案に対して学校はどう向き合うのか、大きな戸惑いがあったのは事実です。

過日、学校と学校関係者評価委員会による全体委員会に於いて、「2022年度自己点検・自己評価報告書」の各基準について詳細な説明を受け

- ①コロナ感染者は21年の6名から22年度は70名と増加したがクラスターは発生していないこと
- ②学生募集停止に関して、在校生が不利益を被ることのないよう、精神面、検定・資格取得を含めた学習面及び就職等、サポート体制、指導を強化すること
- ③募集停止を公表しても、オープンキャンパス等に参加した高校生の入学率が7割を超えるなど、学校の信頼が高いこと 等

各基準に対する取り組み方が丁寧で、しっかりとした現状分析、課題解決を見据えた改善方を明確に示していること等、前向きな報告であったことに安堵した次第です。

東北文化学園専門学校創立45年の長き歴史に、あと数年でピリオドを打つことは残念ですが、全教職員が動じることなく、一丸となって在校生一人ひとりに向き合い取り組んでおられるその一助として、学校関係者評価委員一同、総力を挙げ、教育の質向上に向けた提案を通し、間接的ながら学生支援に結びつく最善の協力を、学校最後の卒業生を見送るまでしっかりと行っていく所存です。

2023年7月21日

東北文化学園専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 中里 仁

1. 学校関係者評価委員会

全体委員会：2023年6月14日

委員間意見調整・確認：～7月7日

最終意見締切：2023年7月11日

報告書提出：2023年7月21日

2. 学校関係者評価委員

【外部委員】2023年度

委員長	中里 仁	NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事 (社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜 総合施設長)
委員	栗原 憲昭	宮城県建築士事務所協会名誉会長 (盛総合設計 会長)
委員	曾根 利恵	宮城県診療情報管理研究会幹事 (仙台赤十字病院 診療情報管理課主事)
委員	郡山 知之	東北大学アイバンク理事 (株)日本眼科医療センター 代表取締役)
委員	須藤 智裕	東北文化学園専門学校同窓会 会長

オブザーバー：(自己点検及び自己評価運営委員会)

委員長	佐藤 直由	校長
副委員長	熊谷 猛	教頭
委員	二本柳 淳子	医療技術学科長
	渡辺 英隆	総合福祉学科長
	宇川 雅晴	医療ビジネス学科長
	増田 学身	建築デザイン学科長
	馬場 健二	専門学校事務部副部長

3. 評価対象期間

2022年度

2022年4月1日～2023年3月31日

4. 実施方法

- (1) 東北文化学園専門学校自己点検および自己評価運営委員会が作成した「2022年度自己点検・自己評価報告書」について、法人承認を経た後の、2023年6月14日に開催された学校関係者評価委員会全体会にて詳細説明を受けています。
- (2) 2023年7月7日を各委員の意見締め切り日として集約、確認し、それぞれの基準について(改善方策も含め)適切であったか評価判断の協議を行いました。
- (3) 最終原案の作成を2023年7月11日より行い、同7月21日に正式報告書として本書を学校提出しています。

※基準1～10までの各委員の意見については、全て公開することとしています。

「2022年度対象」学校関係者評価報告書一覧

1. 自己点検・自己評価の項目

2022年度は以下の基準1～基準10になります。

- 基準1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準2 学校運営
- 基準3 教育活動
- 基準4 学修成果
- 基準5 学生支援
- 基準6 教育環境
- 基準7 学生の募集と受け入れ
- 基準8 財務
- 基準9 法令等の遵守
- 基準10 社会貢献・地域貢献

2. 評価項目に対する評価

基準「1～10」毎に自己点検・自己評価が適切か否かの判定を行っています。

また、判定の根拠、学校関係者評価委員個別の意見はそのまま下段に収載しています。

尚、自己点検・自己評価の小項目評価に付されている1～4の数字は下記のとおりです。

※4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切

自己点検・自己評価項目（基準1～4項目）

基準1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像	
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

学校関係者評価—適切

- ・常に最新の知見を授業に取り入れ、関連科の連携を推進する学科カリキュラムを編成し、特に実社会に対応するキャリアパスの構築、職業実践力の育成については、卒業後の就職率、就職先からも成果が出ていることは明らかだと考えます。御校の自己評価「4」となっておりますが、それ以上の達成がなされたものと考えます。
- ・昨年度に引き続き、御校卒業生が当社会福祉法人の運営する各福祉領域の実践の場で実務を担って頂いております。実際の働く姿を管理者の視点で評価すれば、明るく真面目で、伸びしろを秘めた素晴らしい卒業生の皆さんであると実感しております。人材育成の観点からも感謝いたします。

- ・社会のニーズ等を踏まえた将来構想の観点からも、社会進出してからコミュニケーション能力の低さを新入職員全体に感じております。新型コロナウイルスも5類へ移行したこともありますので、積極的にコミュニケーションを取れる場の提供をお願いいたします。
- ・2023年度を最後に新入学生がいない中ではありますが、最後の卒業生迄サポート体制を継続し、社会に貢献できる人材を育成することを期待します。
- ・新入学生募集停止については、在学生へ不安の解消に引き続き努めていただきたいと思います。
- ・関連業界の知見や業界ニーズをしっかりと取り入れた目標となっていると思います。達成に向けて引き続き工夫しながら取り組んでいただければと思います。
- ・学生が学ぶべき内容や将来のキャリアに対する理解を深めるには、学校はしっかりとした教育目標を持っていることが重要と考えます。今後も優れた人材像を示し、学生一人ひとりが自分の成長に自信を持ち、能力を発揮できるよう学校・教職員が一丸となって取り組んでいただくことを期待します。

自己点検・自己評価項目（基準2-7項目）

基準2 学校運営		
2-2	運営方針	
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4
2-3	事業計画	
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
2-4	運営組織	
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5	人事・給与制度	
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4
2-6	意思決定システム	
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4
2-7	情報システム	
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・2024年度以降の学生募集という厳しい局面において、学校経営の方針（運営方針・基本方針）を継続・実行されている現状を高く評価します。
- ・自己評価にも記されている通り、コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、対面授業を再開し、資格・検定試験にいても高い合格率を維持された実績と、教職員の皆さんの努力を高く評価します。
- ・他の組織においても同様ですし、難しい課題ではありますが、「バランスの取れた業務配分」について構

築されることを期待します。

- ・2023年度の入学生を最後に学生募集停止したことから、教職員のモチベーションダウンが懸念されます。残された教職員のケア（就職活動）を充実させ最後の卒業生迄しっかりとした教育をお願いいたします。
- ・新入学生の募集停止という大きな決断がなされ、在校生の不安のみならず、教職員の今後のサポートをぜひとも検討していただきたいと思ひます。
- ・適切に取り組まれていると思ひます。教員の採用を引き続き工夫し、教育の質の維持に努めることを期待します。
- ・運営組織や事業計画など、十分に配慮されており、継続的な自己評価と改善に取り組んでいる点は高く評価いたします。
- ・学生募集停止の状況下においても教員のモチベーションを高め、充実感をもって教育に取り組める環境づくりに期待いたします。

自己点検・自己評価項目（基準3-13項目）

基準3 教育活動		
3-8	目標の設定	
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方法を定めているか	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3-9	教育方法・評価等	
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4
3-10	成績評価・単位認定等	
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
3-10-2	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
3-11	資格・免許の取得の指導体制	
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12	教員・教員組織	
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12-2	教員の資質向上への取り組みを行っているか	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・教育活動、特に実習においてはコロナ感染リスクの影響を受けながらも、これまで御校が培ってこられた実習先との信頼関係の強さを垣間見る 2022 年度であったと実感します。教育目標の設定、特に教育レベル達成の明確化等、問題ないものと考えます。
- ・国家資格・各種資格認定試験の取得については、全国の認定校の中でも上位の評価を得ている実績が表す通りだと考えます。教職員のご努力に感服いたします。
- ・多様化する学生個々レベルに合わせたキャリア教育の対応は、全ての教育機関が抱える課題であることは承知しています。引き続き対応にご尽力ください。
- ・専門学校の特徴から国家資格取得が最大の目的となっていると思いますが、その資格をより活かせる目標設定も考えてみては如何でしょうか。
- ・新型コロナウイルス対策で教職員の皆様は大変ご苦労された 3 年間だったと思います。5 類になって学外実習などの機会が増えると思いますが、対面コミュニケーションに慣れていない学生がスムーズに実習先に適応できるよう、不安解消などのサポートを充実していただきたいと思います。
- ・学生募集停止に伴い教職員の退職やモチベーションの低下が危惧されます。教育の質を担保する対策を講じていただきたい。
- ・コロナウイルスによる影響が大変大きいと感じました。変化が激しい時代ではありますが、継続的な教育やフォローアップを引き続きお願いします。
- ・現行のカリキュラムは、業界と学校とが毎年時間をかけながら意見を重ね構築してきたものです。この教育の下で訓練された学生を採用してきた業界側にとって、学生募集停止の判断は残念で、今後の職員採用計画に不安を感じます。
- ・学生が求める検定や資格取得サポートを強化している点や、専門的な資格を取得するためのカリキュラムの提供、資格試験対策講座など、学生が目指す資格を取得しやすい環境を整備されている点は評価いたします。
- ・企業等では職員の評価方法も多様化しています。学校においても今後、学生の主体的な学びを促進させ、学生の理解度やスキルなどを包括的に評価することも重要かと考えます。

自己点検・自己評価項目（基準 4-3 項目）

基準 4 学修成果		
4-13	就職率	
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4
4-14	資格・免許の取得率	
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4

4-15	卒業生の社会的評価	
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	3

学校関係者評価—適切

- ・ 学生さん本人、そして親にとっても就職は重大な分岐点です。就職希望者全員の内定を常に目指すその取り組みはなされております。高く評価いたします。
- ・ 上記とも関連しますが、卒業生の社会的評価の把握は重要です。学生募集停止という局面においても卒業生のサポートについて引き続きご尽力いただけることを切に願います。
- ・ 卒業生の社会的評価は重要で、就職先へのアンケート調査等を取り入れるのも重要と考えます。
- ・ 高い水準の就職率を維持されていると思います。就職対象外の学生に対しても十分に相談をして、それぞれの希望や家庭の事情などにも配慮されていると推測いたします。学生が気軽に相談できる環境づくりをしていただきたいと思います。
- ・ 目標となる資格取得は、学生のモチベーションアップにつながると思います。個人に合わせた資格取得の学生支援に期待します。
- ・ 就活出発式の実施は学生の意識付けに良いと思います。資格取得や、卒業生などの外部との連携強化を引き続き期待します。
- ・ 学生募集停止の判断は甘受せざるを得ないのですが、各業界とも新たな人材確保が難しくなると思います。
- ・ 歴史ある学校がなくなることは卒業生にとっても寂しいと思います。専門学校卒業生が様々な面で相談できる体制を大学側に作って欲しいと思います。
- ・ 卒業生のためにも、専門学校が無くなるのではなく、東北文化学園大学にその歴史が引き繋がれるという周知をお願いします。
- ・ 就職率は学校の教育や質、学生支援の面でも重要な指標です。また、資格・免許の取得率も、学生の専門的なスキルや知識の習得において一つの指標になります。学生が自己実現や個々の目標達成に向けてより良い学びを得るために、教育環境の向上に向けて継続して取り組んでいただきたいです。

自己点検・自己評価項目（基準5-12項目）

基準5 学生支援		
5-16	就職等進路	
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
5-17	中途退学への対応	

5-17-1	退学率の低減が図られているか	4
5-18	学生相談	
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-18-2	留学生に対する相談体制を整備しているか	非該当
5-19	学生生活	
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
5-19-3	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4
5-19-4	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
5-20	保護者との連携	
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4
5-21	卒業生・社会人	
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・ 諸先生方の学生さんに対するサポートについては、実習生を受け入れる側の立場からしても高く評価いたします。また、卒業生に対する再就職相談を含めてきめ細やかな対応を実感しております。
- ・ 要医療者を除いたメンタル面を含めた健康上の問題による退学者が減少傾向にあったことは、きめ細やかな学生さんへの対応の賜物と感じます。大変かとは思いますが引き続き「学生中心（学ぶ意欲のある者）」の支援とご対応をお願いします。
- ・ 卒業後の再教育プログラムとして、年一回程度でも卒業生を集めディスカッション等を行い、欠点を補えるプログラムがあっても良いかと思えます。
- ・ 就職先とのミスマッチを防ぐためにも、学生にあった就職先選択が可能となるように学生の性格や適性をよく知る教職員がアドバイスできるような環境や機会を期待します。
- ・ 経済的理由で退学を検討する学生がいなくなるように奨学金や支援金の情報を積極的に周知していただきたいと思えます。
- ・ うつ病や適応障害になる前に、学生自身が気づき早期に対応できるようにメンタルヘルスについての講義やレクチャーの機会が必要だと感じます。
- ・ 校長をはじめ教職員の方々が非常にご尽力されていると感じました。
- ・ 学生の適性や希望に沿った進路サポートも大切ですが、企業との連携やインターンシップの提供など、夏季休暇等を利用し、実務経験を積む機会を増やすことも必要と考えます。

- ・学生が安心して相談できる環境は根付いていると考えます。専門学校閉校後も学生・卒業生の成長に合わせた支援ができるよう頑張っていたきたいです。
- ・学生支援においては、保護者との連携が欠かせません。今後も保護者とのコミュニケーションを大切に、学生のサポートに努めていただきたいです。

自己点検・自己評価項目（基準6-4項目）

基準6 教育環境		
6-22	施設・設備等	
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
6-23	学外実習、インターンシップ等	
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
6-24	防災・安全管理	
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・主観ではありますが、他の専門学校、短期大学と比較しても御校の教育設備の内容は昨年同様、充実していると実感しております。
- ・コロナウイルス感染拡大の悪影響を受けご苦労されている旨、理解しておりますが、その渦中にありながら最大限の尽力対応をされていることを高く評価いたします。
- ・教育環境においては常に新しい情報を取り入れていると思います。新型コロナウイルスの感染を抑えるための換気や手指消毒アルコール、サーモカメラ等の設置もあり、学内での感染は抑えられている印象がありました。
- ・昨年度は新型コロナウイルスの影響もある中で学園祭を開催できたことはとても良かったと思います。今年度も学校行事やイベントを充実させて頂きたいと思います。
- ・学外実習においては、学生の就職に対する意識や就職先選択への重要な機会になると思います。また、コロナ禍を経て、実習先でのコミュニケーションの不安や戸惑いを持つ学生も多くいると思うので、実習中の学生への充実したサポートを期待します。
- ・コロナ禍でも工夫され、防災や安全管理における施設設備改善への充実が図られていると感じました。
- ・学校の施設・設備は、学生の学びや成長に大きな影響を与える重要な要素です。可能な限り、新しいリソースを活用できる環境の提供に努めていただきたいです。
- ・防災・安全管理について、学生・教職員の安全を確保する取り組みなど、日常的な安全管理は欠かさず

にお願いしたいと存じます。

自己点検・自己評価項目（基準7-6項目）

基準7 学生の募集と受け入れ		
7-25	学生募集活動	
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
7-26	入学選考	
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
7-27	学納金	
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・「高等教育の修学支援制度」導入までのご尽力に感謝いたします。
- ・入学金の統一や在校生の皆さんに対する様々な意欲向上の取組みについて高く評価いたします。
- ・受験者数の減少については残念な状況であり、基準8の財務に直結する大問題ではありますが、教職員のご努力を身近に知る委員としては高く評価いたします。
- ・最後の学生受け入れということで、留年ができないことなどを考え、学生一人ひとりへの、より充実した対応を期待します。
- ・来年度以降の新入学生がいらない中ではありますが、専攻科への進学を後押しできるような学習環境の整備を期待します。
- ・2024年度の学生募集停止により、大変ご苦労されていると感じました。
- ・入学選考のプロセスにおいては、透明性のある対応が求められます。今後は専攻科入試に限られた対応になりますが、引き続き入学選考の可視化についての取組みに期待します。
- ・学納金は学生・保護者にとって経済的な負担となる要素です。緊急な支援を要する場合の対応について教職員が連携し、速やかな支援策の提案ができる体制の継続をお願いします。

自己点検・自己評価項目（基準8-6項目）

基準8 財務		
8-28	財務基盤	
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3

8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
8-29	予算収支計画	
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30	監査	
8-30-1	私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31	財務情報の公開	
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・大変残念ではありますが、御校の自己評価・今後の改善策にも記されていますよう、2023年度以降の学生募集停止は如何ともし難い事実です。退学者及び休学の防止に引き続きご尽力ください。
- ・キャッシュフローについて大変厳しい状況にあることは承知しております。学生の納付金収入が増えない以上、現状の経費削減、支出の抑制に努めてください。
- ・法人としての財務状況を考え、学生募集停止に至ったと考えますが、今いる学生の退学者を出さないためにも目的意識を持たせる指導をお願いします。
- ・学生募集停止の影響で退学者が発生しないような対策が必要かと思えます。学生が安心して就職や資格取得に挑めるような環境整備を期待します。
- ・教育内容の充実や実務能力の高さが退学者や休学者の防止につながると思います。教職員一丸となって取り組むことを期待します。
- ・学校は教育の改善や学生支援の充実に取り組めるよう、財務面の適切な予算管理や監査の継続をお願いします。

自己点検・自己評価項目（基準9-7項目）

基準9 法令等の遵守		
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-33	個人情報保護	
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-34	学校評価	
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
9-34-4	学校関係者評価を公表しているか	4
9-35	教育情報の公開	

9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4
--------	-------------------------	---

学校関係者評価—適切

- ・御校における法令等の遵守についての取組みを高く評価いたします。引き続き監事による監査内容を基に「三様監査連絡会」の実施をお願いします。
- ・評価表の記載の通り、情報公開については都度十分に検討し対処願います。
- ・法令は解釈の違いにより見解が分かれることがあります。関係省庁との連携をお願いいたします。
- ・ハラスメントや個人情報保護などの教育を学校として取り組むことで、社会人としての教養が身につくことを期待します。
- ・情報機器の多様化に伴い、学校側においても適切な運用や情報管理が必要となってきますので、引き続き細心の注意を払って運用して欲しいと思います。
- ・学校は、教育機関として関係法令や設置基準等を遵守することが不可欠です。学校の運営やカリキュラム編成、学生の受け入れに関する基準等、今後も適切な手続きを踏み、学校運営に取り組んでいただきたいです。
- ・個人情報の取り扱いに関するルールやガイドラインを整備され、適切に運用されている点は評価します。
- ・学生募集停止は残念ですが、引き続きホームページ等を活用し教育内容や各科の動き等情報提供を行っている点は評価いたします。

自己点検・自己評価項目（基準 10-3 項目）

基準 10 社会貢献・地域貢献		
10-36	社会貢献・地域貢献	
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-36-2	国際交流に取り組んでいるか	非該当
10-37	ボランティア活動	
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・好評を博している「東北文化学園フォーラム」の開催継続と、更なる内容の充実を期待しております。
- ・学校施設の他団体への貸し出しは、「貸し出す側が実感する以上にお借りする側」からすれば大変ありがたいことです。地域で活動される諸団体への更なる有効活用を希望します。
- ・教育に支障のない範囲で、現在も実施している教員の方々の講師派遣継続を望みます。

- ・現在行われているボランティア活動は有効と思いますが、コミュニケーション能力を高められるような活動も考えてほしいと思います（老人ホーム、老健施設等）。
- ・ボランティア活動などでの学校以外の様々な立場の人との交流を通じて、学生のコミュニケーション能力向上や思いやりの心を持つことで、学生の人間力が成長することを期待します。
- ・社会貢献活動は社会に向けた関心や意欲向上に繋がると思いますので、今年度の実施を期待します。
- ・学校は教育だけではなく、地域の課題解決や社会の発展に寄与することも必要と考えます。地域との連携は、社会的な支持を得ることに繋がり、学生にとっても地域に貢献する意識を醸成することができますので、これからも継続的に実施できることを期待します。